

このたび、2014年9月13日に、秋季大会と総会が東京大学駒場キャンパスにおいて予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

☆ 総会での議決事情について

1) 昨年度決算および来年度予算について、下記(別紙資料1)のように、昨年度の決算と今年度の予算が総会で承認されました。

2) 来年度の事業予定について、下記(別紙資料2)のように、来年度の事業予定が総会で承認されました。なおすでにおこなわれた事業にかんしましては日仏哲学会 HP の方をごらんください。

3) 日仏哲学会若手研究者奨励賞として、平石晃樹氏(論文《L'ontologie suppose la métaphysique》: l'ontologie levinassienne dans Totalité et infini)が選出され、表彰されました。

なお、事務局として、今後若手企画ワークショップの共催や、海外研究者講演などを積極的におこなっていく方針があり、これらの件については、理事会で規定そのほかを今後検討していくことなどが報告されました。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募されるかたは本年12月31日までに 下記編集委員長の e-mail アドレスにPDFファイルで完成原稿をお送りください。(以下参考。※ 投稿規定は HP からご覧いただけます)。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ:フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの
2. 応募資格:日仏哲学会会員
3. 原稿の形式:ワープロによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1行全角 43 字(半角 86 字)の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、.....をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ(上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内)を本文とは別のページに付すこと。応募者の連絡先(住所、電話番号、E-mail アドレスを含む)と生年月日(若手研究者奨励賞の対象者を確認するため)を明記した別紙ファイルの PDF を添付すること。

4. 原稿作成上の注意: 欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
5. 原稿締め切り: 2014年 12 月末日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者連絡先)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先: 編集委員会委員長宛。(編集委員長): 米虫正巳 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学文学部哲学倫理学専修研究室 メールアドレス: z97012@kwansei.ac.jp
7. 掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、論文及び仏語レジュメ(Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談)を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

### ☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2015年春季大会は3月21日(土)に大阪大学(豊中キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は 25 分(15 分の質疑応答付き)です。

発表をご希望の方は、日本語の場合は1200字程度の、フランス語の場合は300語程度の発表要旨を12月末日までに、メールに添付して事務局までお送り下さい。なおそのとき、「応募メールを送った」旨を伝える「簡単に確認メール」も別途同時にお送りください。採否は 1 月末日までに決定いたします。

### ★会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000 円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は秋季大会会場で直接お支払いいただけます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

### ★「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

ご了承の下ですでに多数の方に「会報」をメール添付でお送りしていますが、まだお申し出いただいていない方で、「会報」をメール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

### 【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号: 00120-6-194046 / 加入者名: 日仏哲学会

## 資料1 2013年度決算、2014年度予算について

2013年度(2013年9月1日～2014年8月31日)

### 2013年度予算

収入	
会員会費	1,020,000
雑収入	30,000
(単年度収入)	1,050,000)
前年度繰越金	1,858,459
計)	2,908,459円

支出	
大会費	70,000
事務局費	200,000
通信費・送料	80,000
機関誌刊行費	700,000
(単年度支出)	1,050,000)
次年度繰越金	1,858,459
計)	2,908,459円

### 2013年度決算

収入	
会員会費	1,189,000
雑収入	68,325
(単年度収入)	1,257,325)
前年度繰越金	1,858,459
計)	3,115,784円

(注1) 雑収入内訳

機関誌売上	30,820円
著作権料	21,000円
懇親会費余剰	16,505円

支出	
大会費	106,236
事務局費	308,707
通信費・送料	124,570
機関紙刊行費	644,840
(単年度支出)	1,184,353)
次年度繰越金	1,931,431
計)	3,115,784円

72,972円の黒字

繰越金内訳

振替貯金	1,924,542円
現金	6,889円

## 2) 2014年度(2014年9月1日～2015年8月31日) 予算

収入	
会員会費	1,190,000
雑収入	30,000
(単年度収入)	1,220,000)
前年度繰越金	1,931,431
計)	3,151,431円

支出	
大会費	70,000
事務局費(バイト代含む)	250,000
通信費・送料	100,000
機関誌刊行費	700,000
HP管理維持等	20,000
名簿等印刷代	50,000
若手研究者奨励賞	30,000
(単年度支出)	1,220,000)
次年度繰越金	1,931,431
計)	3,151,431円

## 資料2 2014年度事業計画について

①2014年9月13日 秋季研究大会（東京大学 駒場キャンパス）

一般研究発表：15名

総会

特別講演 アンヌ・ソヴァニャルグ（パリ第10大学）

シンポジウム：＜モナドロジーの哲学＞

（司会）米虫正巳、（発表）田口茂、池田真治、中倉智徳

②2015年3月21日 春季研究大会（大阪大学 豊中キャンパス 予定）

一般研究発表

シンポジウム：＜日仏哲学会のこれまでとこれから＞

（司会）山田弘明、（発表）久米博、曾我千亜紀、津崎良典

③2014年9月 機関誌19号発行

④それ以降の予定

2015年9月秋季研究大会（立教大学（予定））

一般研究発表

総会

シンポジウム：＜現代フランス哲学の知られざるスピノザ＞

（司会）上野修、（発表）坂本尚志、信友健志、藤井（的場）千佳世